

平成27年 2月 6日

各 位

井関農機株式会社

## 平成27年3月期 第3四半期連結業績 補足資料

(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

## 1. 連結第3四半期損益

(億円、%)

	25/3期 第3四半期 累計実績	26/3期 第3四半期 累計実績	27/3期 第3四半期 累計実績	26/3期比増減		27/3期 第3四半期 累計計画	計画比 増減
				金額	率		
売上高	1,179	1,265	1,185	△80	△6.4	1,170	+15
国内	1,024	1,080	1,018	△62	△5.8	1,017	+1
海外	155	185	167	△18	△9.7	153	+14
売上総利益	372	385	347	△38	△10.0	354	△7
粗利率	31.6%	30.5%	29.3%	△1.2%	-	30.2%	△0.9%
販管費	317	326	339	+13	+3.8	333	+6
営業利益	55	59	8	△51	△85.9	21	△13
金融収支	△6	△6	△5	+1	-	△5	-
他営業外	6	18	18	±0	-	6	+12
経常利益	55	71	21	△50	△70.4	22	△1
特別利益	2	1	15	+14	-	15	-
特別損失	△3	△2	△3	△1	-	△4	+1
税前四半期純利益	54	70	33	△37	△52.8	33	-
税、税調整額他	△15	△20	△19	+1	-	△16	△3
四半期純利益	39	50	14	△36	△72.0	17	△3

※当社の第3四半期連結業績は、国内販売会社を中心とする12月決算会社の1-9月、井関農機他3月決算会社の4-12月業績を連結しております。また、新たに連結対象となったフランス子会社の7-9月業績を連結いたしました。

## 1) 前年同期比

## (1) 売上高：前年同期比80億円減収の1,185億円(△6.4%)

## ・国内売上高は、前年同期比62億円減収の1,018億円(△5.8%)

国内農機市場は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響や米価の低迷等により低調に推移し、農機製品全体で45億円の減収。作業機も農機製品に連動して14億円の減収。補修用部品は3億円の増収。施設工事は9億円の減収。

## ・海外売上高は、前年同期比18億円減収の167億円(△9.7%)

製品地域別には、欧州市場は需要が回復してきたことなどから28億円の増収。

北米市場は、ユーティリティトラクタの投入効果が一巡したことなどから8億円の減収。中国市場は、中国の連結子会社が事業統合により、第1四半期末より連結対象から除外となったことから44億円の減収。

その他アジアは1億円減収。豪州は3億円増収。

(2) 営業利益：前年同期比 51 億円減益の 8 億円 (△85.9%)

経常利益：前年同期比 50 億円減益の 21 億円 (△70.4%)

・営業利益は、国内農機製品の販売減少(4-12月)による粗利益の減少や、中国の連結子会社が連結対象から除外となった影響、人件費や90周年関連販促費等の販管費の増加により、51 億円減益の 8 億円。

・経常利益は、為替差益の減少等により、50 億円減益の 21 億円。

(3) 四半期純利益：前年同期比 36 億円減益の 14 億円 (△72.0%)

・四半期純利益は、中国現地法人の現物出資に伴う持分変動利益の計上や、欧州販売代理店の株式取得(子会社化)による負ののれんの計上などがあったものの、36 億円減益の 14 億円。

## 2) 計画比

(1) 売上高：計画比 15 億円増収の 1,185 億円

・国内売上高は、ほぼ計画通りに推移。

・海外売上高は、製品地域別では、北米市場が7 億円増収。欧州市場は3 億円増収。その他アジアで1 億円増収。

また、部品その他で3 億円の増収となり、海外全体で14 億円の増収。

(2) 営業利益：計画比 13 億円減益の 8 億円

・営業利益は、増収による粗利益の増加を、海外調達による輸入コストの増加や新規に連結したフランス子会社の経費負担等による販管費の増加が上回り、計画比 13 億円の減益。

(売上内訳)

(億円)

	25/3 期 第3 四半期 累計実績	26/3 期 第3 四半期 累計実績	27/3 期 第3 四半期 累計実績	26/3 期比 増減	27/3 期 第3 四半期 累計計画	計画比 増減
農業機械	514	542	497	△ 45	496	+ 1
作業機	135	165	151	△ 14	151	-
補修用部品	110	108	111	+ 3	111	-
施設工事	68	64	55	△ 9	55	-
その他	197	201	204	+ 3	204	-
国内 計	1,024	1,080	1,018	△ 62	1,017	+ 1
北 米	41	81	73	△ 8	66	+ 7
欧 州	36	27	55	+ 28	52	+ 3
中 国	51	54	10	△ 44	10	-
その他アジア	9	8	7	△ 1	6	+ 1
豪州他	3	3	6	+ 3	6	-
製品 計	140	173	151	△ 22	140	+ 11
補修用部品	8	9	12	+ 3	9	+ 3
その他	7	3	4	+ 1	4	-
海外 計	155	185	167	△ 18	153	+ 14
合 計	1,179	1,265	1,185	△ 80	1,170	+ 15

## 2. 平成27年3月期通期連結業績予想の修正および配当予想の修正

- 平成26年11月7日に公表いたしました平成27年3月期通期連結業績予想および平成26年5月14日に公表いたしました配当予想を下記の通り修正いたしました。

### 【平成27年3月期通期連結業績予想】

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(億円、%)

	前回発表 業績予想	今回 業績予想	増 減		26/3期 通期実績	前期比 増減
			金額	率		
売上高	1,590	1,580	△10	△0.6	1,691	△111
（国内）	1,365	1,323	△42	△3.1	1,429	△106
（海外）	225	257	+32	+14.2	262	△5
営業利益	25	10	△15	△60.0	74	△64
経常利益	24	18	△6	△25.0	83	△65
当期純利益	15	9	△6	△40.0	64	△55

(修正の理由)

#### 1) 売上高 (△10億円)

- 国内売上高は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や米価の低迷等が、引続き国内農機の販売を下押しすることも懸念されることから、前回予想に対し42億円の減収を見込んでおります。
- 海外売上高は、北米・欧州向けトラクタや乗用芝刈機が好調に推移しており、前回予想に対し32億円の増収を見込んでおります。

#### 2) 営業利益 (△15億円)

- 営業利益では、海外売上増加による粗利益の増加が見込まれるものの、国内製品および農機関連商品等の売上減少による粗利益の減少等により、前回予想に対し15億円の減益を見込んでおります。
- 各利益においては、営業利益の減益見込みに伴い前回予想から修正しております。
- 第4四半期の想定為替レートは、対1米ドル=118円(106円から変更)、対1ユーロ=140円(135円から変更)としております。また、ユーロ建期末債権評価レートについては、対1ユーロ=132円(135円から変更)としております。

### 【平成27年3月期 期末配当予想】

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
前回発表予想 (平成26年5月14日)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 3.00 ～4.00	円 銭 3.00 ～4.00
今回修正予想	—	—	—	3.00	3.00
当期実績	—	—	—		
(参考)前期実績 (平成26年3月期)	—	—	—	4.00	4.00

(修正の理由)

当社は、配当を最重要政策の一つと認識しており、連結業績のみならずグループの財務体質や今後の事業展開、経営環境の変化などを総合的に勘案し、安定した配当の継続、向上を基本方針としております。1株当たり3～4円としておりました当期の期末配当予想について、グループの業績動向を勘案し、1株当たり3円とさせていただきます。

以上